

弘前大学教職大学院 令和元年度中堅教諭等資質向上研修選択講座実施要項

1. 講座名 「新たな実践をつくり出す！協働ワークショップ」
2. 期日 令和元年 11月12日（火）および26日（火）
3. 対象 小・中学校、高等学校、特別支援学校の教員対象（合同で実施） 定員なし
4. 会場 弘前大学教育学部・教職大学院
5. 講師 吉田美穂、福島裕敏、成田頼昭を中心とした教職大学院教員
教職大学院修了生（鈴木知絵、中田泰人）

1日目		2日目	
9:15	受付	9:30	発表 観察・インタビューから見えてきたこと 発表・質疑応答・コメント
9:30	アイスブレイク・自己紹介		
9:50	講義 講座のねらいと構成について ～指標を読み解くー形成期から向上・発展期へ～		
10:30	ワークショップ1 教職ライフラインを語り合おう ～省察とキャリア形成～ 作成と発表	10:30	ワークショップ5 勤務校で、新たな実践をつくり出すために… ～小さなプランを立ててみよう～ 作成と協議
11:50	プレゼンテーション1 ～教職大学院修了生 鈴木知絵先生（青森北高校）の実践研究～ コメントシートに記入・提出	11:50	プレゼンテーション2 ～教職大学院修了生 中田泰人先生（浪岡中学校）の実践研究～ コメントシートに記入・提出
12:30	休憩	12:30	休憩
13:20	ワークショップ2 鈴木先生の実践研究の後ろにあるもの ～組織の中で新たな実践を目指すということ～ 質疑応答・討議・修了生のライフライン提示	13:20	ワークショップ6 中田先生の実践研究の後ろにあるもの ～組織の中で新たな実践を目指すということ～ 質疑応答・討議・修了生のライフライン提示
14:50	ワークショップ3 自分の実践と勤務校をみつめる ～気になること、変わったらいいなと思うこと～ 作成と協議（修了生も参加）	14:50	講義 専門職としての教員と省察的な対話
15:20	講義 質的データ収集の方法を知る ～観察・資料収集・インタビュー～	15:10	ワークショップ7 教職コアリフレクション ～実践を支える足場を築く～ 作成・協議
15:40	ワークショップ4 勤務校を深く知るために ～観察・インタビュー等の計画を立てる～ 作成とアドバイス	16:05	まとめと振り返り これまでの5年・これからの5年
16:20	終了	16:20	終了

育成指標を手がかりに自分の実践や活動をみつめてみよう

		形成期	向上・発展期
人間力	教員としての素養	教育的愛情と責任感、高い倫理観、教職に対する使命感や誇り	
		豊かな社会性と人間性、コミュニケーション能力	
		社会の変化や本県の教育課題に対応し、常に学び続ける探究心及び向上心	
指導力	教科等に関する指導	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり	
		教材・教具の工夫、児童生徒の学習意欲を高める指導	専門的知識や技術の活用、児童生徒の学習の状況に応じた指導
		他の教員からの学びを生かした授業改善	自らの授業改善や指導力向上への取組や、初任者等への適切な助言
	生徒指導	児童生徒の現状や背景に対する理解と個性や能力の伸長を促す指導	児童生徒に関する多面的な情報収集と学年・分掌の連携による取組の推進
		児童生徒のコミュニケーション能力や社会性を育む指導	児童生徒の社会性を育むための教育活動全体を通じた取組の推進
		保護者や他の教職員と連携した継続的な指導や支援	保護者や関係機関等と連携した継続的な指導や支援
マネジメント力	学級・学年経営及び学校経営	学校教育目標の理解と児童生徒の実態に応じた学級経営	学校教育目標の実現に向けた学年・分掌経営への参画
		学年主任、分掌主任、他の教職員との連携・協力	学年・分掌経営における課題整理と活性化に向けた工夫改善
		安全に配慮した環境整備と危機に対する報告・連絡・相談の徹底	学校安全に向けた点検の励行と危機の未然防止、早期発見のための組織的取組
	同僚との連携・協働	積極的なコミュニケーションによる良好な人間関係づくりと指導力の向上	学年や分掌における提案や立案の課題整理と事前調整
		自らの役割の理解と他の教職員と連携・協働した取組	経験に応じた役割の理解と指導や助言
	地域社会との連携・協働	家庭や地域社会との情報共有、連携・協働	家庭や地域社会、学校観の連携・協働

できていることには「○」、ちょっと不安なことには「△」を入れましょう。どちらでもないものは空白のままでOKです。

⇒ できていることの中で一番のところは「◎」に、不安なことの中で一番のところは「▲」にしましょう。

省察シート

今、ある程度できていて、より高めたいと思うこと	これから頑張ってみようと思うこと

+
0
=
年齢 (時期区分)

① 自分の置かれた状況（その変化）

② 知識・技術についての積極的な学習・研修

③ 支えてくれた学校内外の人々

所属	氏名
----	----

1 勤務校の現状または課題

<p>「気になること」「変わったらいいなと思うこと」</p>

勤務校の一員としてよりよい学校づくりをすすめていくためには、自分がとらえた勤務校の現状や課題について、一度立ち止まって、「果たして本当にそうなのか」「同僚はどうとらえているのか」「自分には見えていない状況や持っていない情報があるのではないか」などを、調べて考えてみる必要がある。

2 勤務校をより深く知るための調査案

	〇〇について知るために…	実施する観察・インタビュー・資料収集等
1		
2		
3		
4		

所属	氏名
----	----

1 勤務校の現状または課題

「気になること」「変わったらいいなと思うこと」

2 調査結果

対象	内容
実施日時	
形態（観察・インタビュー等）	
対象	内容
実施日時	
形態（観察・インタビュー等）	
対象	内容
実施日時	
形態（観察・インタビュー等）	

3 調査から気づいたこと・見えてきたこと・（新たな実践に向けたアイデア）

所属	氏名
----	----

新たな実践のプラン

概要
実践を進めたら、どのような変化が生まれそうか
中心になって動くのは…
始め方は…
使える資源や人材
だいたいスケジュール
予算
進める上で障害になりそうなことと乗り越え方

コアリフレクション

どのようなことを大事にしているの？

どのような教員になりたいの？

教員として、腕を磨いていきたいことは？

教員として、どのような社会的使命を感じているの？

教員として、取り組んでいきたいことは？

教員として一番活かしたい自分の「持ち味」は？

新たな実践に活かしていきたいものは？



ケース

あなたは、採用されて6年目、小学校5年生27人（男子12人・女子15人）の学級担任です。

この学年は、4年生では、どうしても授業中に立ち歩いてしまったり騒いでしまったりする傾向のある児童が2名（男子）いて、前担任は、はたから見ても少し大変な様子でした。ただし、この子たちは発達障害などの診断はなく、教員の加配はありません。

4月が始まってからは、担任として、とにかく落ち着いた学級をつくろうと、ルールを大切にす指導を意識して進めました。学級全体に、発言のルールを守って授業中に勝手に話さない、立ち歩かない、忘れ物をしない、身の回りの整理整頓をする、廊下は静かに歩く、というような当たり前のことを徹底しながら、とくに落ち着きのない2人の行動に注意を払っていました。4月の懇談会でも、保護者には、「明るい子どもたちが多く、担任としてもこの1年を楽しみにしているが、学習内容も一段と深くなる5年生の時期なので落ち着いて学べる環境づくりを大切にしたい」と伝えました。参加してくれた保護者は、15名ほどでしたが、PTAの選出もあり、一人一人の保護者と話をする時間はありませんでした。

5月の連休明けのことです。Aさん（女子）が欠席しました。Aさんは、成績はそれほどよくありませんが、おとなしい性格で整理整頓もきちんとでき、手のかからない児童です。朝は、お母さんから体調が悪くて休むという連絡が入ったので、そうなのかと受け止めていました。

ところが、放課後、Aさんのお父さんから、すごい剣幕で担任に電話がかかってきました。矢継ぎ早に話されるので、なかなか応答もできないような勢いです。お父さんが言っていることは、端的に言えば、「Aが学校に行きたくないと言っている。今までこんなことは一度もなかった。クラスにいじめがあるのではないか。担任は何をみているんだ！」ということのようでした。

▶あなたは、この電話にどのように対応しますか？ 注意点は何でしょうか？

パターン1

お父さんは激高している状態なので、「お電話ではなく、今日か明日、一度お会いしてお話ししましょう。時間を調整するので、少し待ってください。折り返しお電話します」と言って、電話を切りました。

パターン2

「Aさんにも会いたいですし、とにかく、今からすぐに家庭訪問させていただきたいと思います」と言って何とか受け入れてもらえたので、電話を切りました。



電話を切ってから、落ち着いて考えてみましたが、Aさんの保護者は4月の懇談会に来ておらず、どんな保護者なのか、わかりません。児童の家庭調査票には、父母とも会社名があるので働いているだろうこと、Aさんの他に、保育園に通っている弟がいることはわかりますが、それ以上の情報はありません。

- ▶あなたは、この後、すぐどのように行動しますか？
自分の動き、周りと連携しての動きについて、できるだけ考えてみましょう。

教員育成指標を手がかりに自分の実践をみつめてみよう

		向上・発展期	充実期
人間力	教員としての素養	教育的愛情と責任感、高い倫理観、教職に対する使命感や誇り	
		豊かな社会性と人間性、コミュニケーション能力	
		社会の変化や本県の教育課題に対応し、常に学び続ける探究心及び向上心	
指導力	教科等に関する指導	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり	
		専門的知識や技術の活用、児童生徒の学習の状況に応じた指導	高い専門性と多様な教育資源の活用、児童生徒の思考の展開に応じた指導
		自らの授業改善や指導力向上への取組や、初任者等への適切な助言	学校全体の授業力向上につながる取組の推進と指導的役割
	生徒指導	児童生徒に関する多面的な情報収集と学年・分掌の連携による取組の推進	学校全体の生徒指導及びキャリア教育の充実に向けた組織的な取組の推進
		児童生徒の社会性を育むための教育活動全体を通じた取組の推進	教育活動全体を通じた取組を推進するための体制づくりと指導的役割
		保護者や関係機関等と連携した継続的な指導や支援	関係機関等と連携した指導や支援のための体制づくりと指導的役割
マネジメント力	学級・学年経営及び学校経営	学校教育目標の実現に向けた学年・分掌経営への参画	学校教育目標の実現に向けた学年・分掌経営における指導や支援
		学年・分掌経営における課題整理と活性化に向けた工夫改善	学校運営全般への参画と教育活動の活性化
		学校安全に向けた点検の励行と危機の未然防止、早期発見のための組織的取組	学校安全の確保と危機の未然防止、再発防止に向けた組織的な取組の推進
	同僚との連携・協働	学年や分掌における提案や立案の課題整理と事前調整	他の学年や分掌との連絡調整
		経験に応じた役割の理解と指導や助言	OJT(日常的な職場内研修の推進を図る体制づくりと指導的役割)
	地域社会との連携・協働	家庭や地域社会、学校間の連携・協働	地域の人的・物的資源を活用した協働的な取組や学校間連携の推進

できていることには「○」、ちょっと不安なことには「△」を入れましょう。どちらでもないものは空白のままでOKです。
 ⇒ できていることの中で一番のところは「◎」に、不安なことの中で一番のところは「▲」にしましょう。

省察シート

	今、ある程度できていて、より高めたいと思うこと	これから頑張ってみようと思うこと
前半		
後半		

ケーススタディ資料

採用2年目の学級担任です。

1年目は、2年生の担任でしたが、2年目は、5年生の担任になりました。講師経験も含め、5年生は初めてです。

家庭科や外国語など教科も増え、また、クラブや委員会、学校行事に関わる指導も必要になりました。各教科の学習内容も難しくなりましたが、なかなか教材研究の時間がとれません。とくに、苦手な子の多い算数の指導では、苦勞しています。

7月になりましたが、クラスの様子落ち着かず、指導に対する児童の反応も悪く、「もしかしたら、これは学級崩壊につながりかねない状況なのでは？」と不安を感じています。振り返ってみると、6月の宿泊学習のグループ作りで、女子児童を中心に担任への不満が残ったのが影響しているように思います。中でも、学級でも発言力が強いミニバスに参加している女子3名が、強めのオーラを発しており、担任の指示に対しても「え〜っ」と言って、嫌そうな顔をすることがあります。

また、学習支援が必要な男子1名がいます。明るく元気ですが、こだわりが強く、立ち歩くこともあって、周りが授業に集中しにくい状況にあります。同じ班の児童が面倒をみていますが、彼らの中にも不満が溜まっているようです。

隣のクラスは、学年主任が担当していていい雰囲気です。今のクラスには、昨年4年生のときに、この学年主任の先生のクラスだった生徒が半数いて、「あっちのクラスがよかった」という児童の声が聞こえてくる状況で、自信が持てないでいます。